


調査団体名	水源の森と八竜湿地を守る会	団体代表者名	柴田美子
活動地域	名古屋市守山区 八竜湿地・八竜市民緑地	団体URL	http://www.nga.or.jp/partnership/member/hachiryu.html
<p><活動内容></p> <p>湿地は、放置すれば遷移が進み、ササ原や雑木林になってしまう。湿地の植生を維持し回復させるためには、ササ刈りや外来種(園芸用スイレン・メリケンカルカヤ・アライグマ等)の除去など、日々の手入れが必要である。また、湿地を囲む森を水源の森として維持していくためには、間伐などの手入れが必要である。</p> <p>守る会は名古屋市と協働で緑地の維持管理作業を行っている。 毎月第1日曜日 9:30~12:00 自然観察会 1月19日 芋煮会と間伐 毎月第3日曜日 9:30~12:00 定例作業日 4月18・19日 春の自然観察会(一般公開)</p>			
<p><連携している団体・専門家・自治体など></p> <p>○なごやの森づくりパートナーシップ連絡会に加盟 ○都市の中の湿地を考える研修会(会場:(財)名古屋市みどりの協会 会議室)</p>			
<p><今までに行った調査・研究></p> <p>この地は一万年前、濃尾平野と同じく海の入江であったため、砂・泥及び礫層をなしている。その後、地殻変動により、東海層群の隆起によって東部丘陵地の上部(特に谷間)は、保水力のある地形が保全されている。</p>			
<p><現在直面している課題></p> <p>八竜緑地内には、市内でも貴重な湿地がある。そこには貴重な湿地の動植物が生息している。これらを守り続けるために、どんなものかのぞいてみてほしい。気に入ればライフワークとして活動に参加してほしい。いったん手を掛けたものの天然更新は難しいが、むやみに手をかけ過ぎないように、自然と対話しながら種の選択をしていきたい。自然のサイクルを理解し、次世代の若者に継承したい。</p>			
<p><今後どんな情報が必要か></p> <p>貴重な湿原を守るためには、丘陵の礫層からの湧水源を見極め、周辺にて乱開発が起きないように行政等との連携が大切。</p>			
			
活動中			